

# 第4学年社会科指導案

平成27年12月1日(火)

第6校時(14:30~15:15)

## 四年部会研究主題

よりよい地域社会について考えようとする子供の育成  
～自分との関わりで地域社会をとらえ、表現しながら考えを深める指導の工夫～

1 小単元名 地域の発展に尽くした人々（玉川兄弟と玉川上水）

## 2 小単元の目標と観点別評価規準

### (1) 小単元の目標

玉川上水をひらき、それにより江戸のまちの人々の生活の向上や武蔵野台地の発展に尽くした玉川兄弟のはたらきに関心を持ち、玉川兄弟や工事に携わった人々の工夫や努力、願いについて資料等を活用して調べ、人々のはたらきや苦心について考え表現することができる。

### (2) 観点別評価規準

ア：社会事象への 関心・意欲・態度	イ：社会的な 思考・判断・表現	ウ：観察・資料活用の 技能	エ：社会的事象について の知識・理解
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の発展に尽くした玉川兄弟の働きに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。</li><li>・玉川上水が今でも大切に利用されていることに関心を持ち、地域社会の発展について考えようとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の発展に尽くした玉川兄弟の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</li><li>・江戸のまちの人々のため困難を乗り越え工事を続けた玉川兄弟の苦心を考え、表現している。</li><li>・江戸のまちの人々の願いや生活の向上と玉川兄弟の働きや苦心とを関連付けて考え適切に表現している。</li><li>・現在も大切に利用されている玉川上水について、自分の考えを表現している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・写真や地図、文章資料等を活用し、地域の発展に尽くした玉川兄弟の働きについて必要な情報を集め、読み取っている。</li><li>・玉川兄弟の働きや玉川上水について調べたことをノートや作品などにまとめている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・玉川上水の工事の様子や、玉川兄弟の工夫や努力を理解している。</li><li>・江戸のまちにきれいな水を配水するための工夫を理解している。</li><li>・玉川兄弟の働きと玉川上水の恩恵を受けた人の生活の向上とを関連付けて理解している。</li></ul>

### 3 小单元について

本小单元は学習指導要領第3学年及び第4学年の以下の点を踏まえて設定した。

#### 学習指導要領 第3学年及び第4学年

目標（2）地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

目標（3）地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てようとする。

内容（5）地域の人々の生活について、次のことを見学・調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

本小单元は、江戸時代に玉川兄弟らによって作られた玉川上水が、江戸のまちの人たちの生活の安定と向上に大きな働きをしたことや、その後、玉川上水の分水が引かれ、武蔵野台地が大きく発展したことを学習する。さらに、その玉川上水は現在自分たちが使っている水道の元になっていることから、玉川兄弟の功績が、江戸や武蔵野台地の人々の生活の向上に貢献したことを自分たちの生活と関連付けて考えられるようにする。それだけでなく、現在も自分たちの地域に配水している浄水場へ水を引くために玉川上水が使われていることから、かつて、先人の苦心や工夫によって生活の向上や地域の発展のために行われた開発が、現在でも自分たちの地域の人たちの思いや協力によって地域の環境の向上や豊かな暮らしに大きな働きをしていることを学ぶことで、これからの地域社会のあり方や自分にできることについて考えるきっかけになると考えた。

玉川上水は、拡大していく江戸のまちの水不足を解消するために、玉川兄弟の指揮の下、開削された上水である。また、玉川上水から分かれたいくつもの分水は、それまで荒地であった武蔵野が発展する契機となった。近代化とともに玉川上水は実務的な役割が無くなり使用されなくなったが、羽村取水堰から小平監視所までは継続して多摩川の水が流れており、小作浄水場や東村山浄水場、村山貯水池へと送水され、現役の水道施設として活用されている。さらに玉川上水流域は、緑地や遊歩道、蛍の育成の場等として住民の憩いの場となっている。

玉川上水が開削された目的は、江戸のまちの切実な水不足の解消である。そこには、江戸の人々の「水がほしい。」という切実な願いがある。その願いを叶えるために、玉川兄弟を中心に開削をすすめ、完成に向けていくつもの困難を乗り越えるその姿や、困難を乗り越えるための工夫を学ぶことにより、「普段見ている玉川上水はそんな思いが込められているのだ。」「自分たちの住む地域にはこんな立派なものがあるのだ。」と、地域社会への関心、そして、誇りや愛情をもつことにつながると考えた。

小单元の後半には、現在の玉川上水を取り上げる。江戸時代に作られた玉川上水だが現在でもそこを流れている水が浄水場に取り入れられ、東京都に住む人々の飲み水となっている。また、玉川上水が役目を終えた後も埋められて道路になるのではなく、そのままの姿が残されている。これらのことから、玉川兄弟の功績によって作られた玉川上水が現在でも自分たちや地域の人々の生活を支えていることを考えさせることで、自分たちのこれからの地域に関心を持ち、社会に参画していくための基礎、参画意識を育てていけると考えた。

#### 4 知識の構造と育てたい子供の姿（丸数字は取り扱う時数）

##### 【学習指導要領】

第3学年及び第4学年内容（5）

地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

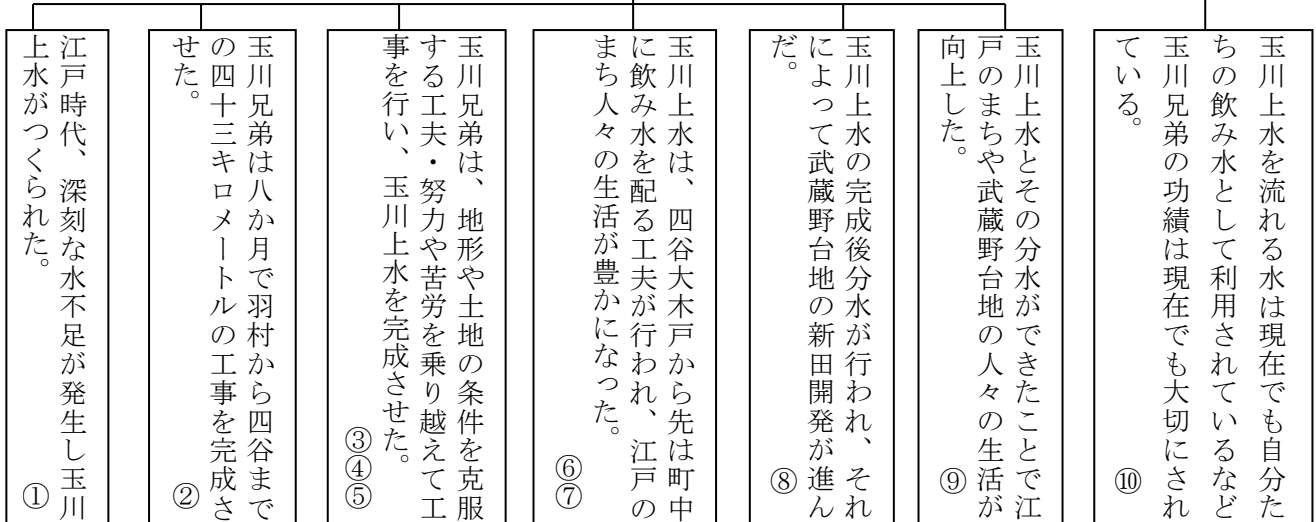
（内容の取扱い）

（6）内容の（5）のウの「具体的事例」については、開発、教育、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げるものとする。

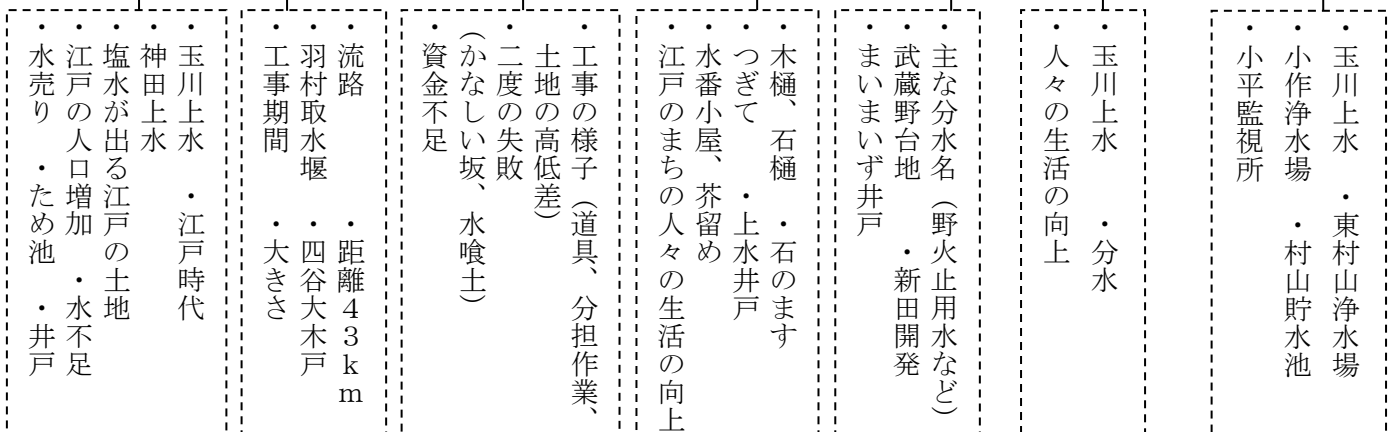
##### 【中心概念】

玉川兄弟の努力によって完成した玉川上水は、水不足だった江戸のまちの人々の生活を豊かし、さらにその分水ができたことで新田開発が進み、武蔵野台地も発展した。 ⑨

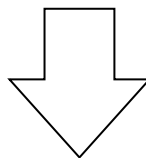
##### 【具体的知識】



##### 【用語等】



ふかめる



##### 【育てたい子供の姿】

地域に残っている先人の努力の跡をこれからも残していきたいと考える子供

## 5 児童の実態

## 6 研究主題との関連について

### 四年部会研究主題

よりよい地域社会について考えようとする子供の育成  
～自分との関わりで地域社会をとらえ、表現しながら考えを深める指導の工夫～

本部会では、全体テーマを踏まえた上で上記の部会研究主題を設定し、具体的な手だてを講じ検証することにした。

次の表に「社会認識を深め、参画意識を培う教材の開発」及び「社会認識を深め、参画意識を培う指導の工夫」を各学習過程に沿って整理した。

また、「社会認識の深まりや社会参画への思いを見取る評価の工夫」については次の3点を意識して評価する。

- ① 各学習過程において目指す児童像(※次ページ表中)を設定し、それに達していない児童については支援の方法も具体化しておくことで、評価と個に応じた指導につなげる。
- ② よりよい社会の形成に参画しようとする意識の高まりについて、学習した成果を生かしながら、これからのよりよい地域社会の具体例やその実現のために自分たちができることを考え、表現しているかという観点で見取り、指導に生かす。
- ③ 地域の社会的事象に対する見方・考え方の深まりについて、学習をしてきたことをもとにそれらを比較・関連付けたり、異なる視点から見つめ直したりして自分の言葉で考えを表現しているかという観点で見取り、指導に生かす。

○数字は取り扱う時数

学習過程	社会認識の深まりや社会参画への思いを見取る評価の工夫	社会認識を深め、参画意識を培う教材の開発	社会認識を深め、参画意識を培う指導の工夫
つかむ	<p>〈目指す児童像〉 自分たちの住んでいる地域にはかつて水道として使われた玉川上水があることをとらえ、玉川上水と自分との関わりをつかんで自分なりの疑問をもち、調べる計画を立てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の自分たちと水道の関わりから、江戸時代の人々と水の関わりに気付ける教材:「飲み水として使われている玉川上水の水①」「水売り①」</li> <li>・自分と地域社会との関わりを意識できる教材:「地域にある玉川上水①」「玉川上水駅①」</li> <li>・玉川兄弟の工夫や苦心を想像できる教材:「高低差のない土地②」「8か月という短い工期③」「43kmという長い工事距離③」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在飲み水として使われている玉川上水の水が、江戸時代に使われ始めたことから、玉川上水や江戸時代の飲み水について関心を高める。</li> <li>・地域にある玉川上水駅や玉川上水を取り上げたり、航空写真上で流路を調べたりして、自分たちの住む地域が玉川上水でつながっていることを実感させ、自分とのかかわりから考えさせる。</li> <li>・距離を測る、高低差を確かめる、当時の人の気持ちを想像してロールプレイを行うなどの活動を取り入れる。</li> </ul>
調べる	<p>〈目指す児童像〉 玉川兄弟の工夫・努力・苦心とその功績を資料をもとに調べ、水路や工事の工夫や失敗してもあきらめずに工事を続けたことをとらえている。 玉川上水の分水が数多く作られ武蔵野台地の新田開発が進み、新しい村が増えた事実をとらえることができるとともに、人々の生活の向上について考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟の工夫・努力・苦心がとらえられる教材:「工事に使われた道具④」「失敗してもあきらめずに工事を続けたエピソード⑤」</li> <li>・玉川上水が完成したことで、江戸のまちの人々の生活が向上したことがとらえられる教材:「上水井戸⑥」「川柳⑦」</li> <li>・玉川上水の分水がつくられたことで、武蔵野台地の新田開発が進んだことがとらえられる教材:「新田開発の地図⑧」「玉川上水駅付近の新田開発地図⑧」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の様子や使用していた道具、時代背景などを資料で提示することで、より多くの工夫や努力を考えられるようにする。</li> <li>・玉川兄弟や江戸のまちの人の立場に立って考える活動を通して、思いや願いを想像できるようにする。</li> <li>・玉川上水ができる前とできた後の武蔵野台地の村の数を比較する活動を通して、玉川上水が果たした役割を考えることができるようにする。</li> </ul>
まとめる	<p>〈目指す児童像〉 江戸のまちの人や武蔵野台地の新田開発をした人の立場に立って、玉川兄弟の功績と地域の発展を関連付けて理解することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟の苦心や功績について、分かったことや考えたことがとらえられる教材:「吹き出しによる表現③～⑨」「玉川上水マップ③～⑨」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟、江戸のまちの人、武蔵野台地の人、それぞれの立場から考える活動を通して、当時の人々の生活の向上を関連付けて考え、理解できるようにする。</li> </ul>
ふかめる	<p>〈目指す児童像〉 現在も玉川上水の水が飲み水として利用されている事実やその事業に関わる水道局の方の思いをとらえ、これから玉川上水について自分なりの考えをもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代につくられた玉川上水を流れる水が、江戸時代から東京都の飲み水として利用され続け、これからも大切に利用されることがとらえられる教材:「玉川上水の水利用略年表⑩」「水道局の人の話⑩」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水の水が江戸時代から飲み水として利用され続けていたことや水道局の方の話から、玉川上水や玉川兄弟の功績への理解を深めさせるとともに、これからの玉川上水について考えることができるようにする。⑩</li> </ul>

7 学習指導計画（全10時間 本時4／10）

時 ねらい	○主な学習活動 ・内容	□留意点 ◎資料 ◇評価【観点】（評価手段）
つ か む  い て 調 べ 、 玉 川 上 水 や 玉 川 兄 弟 に 関 心 を も つ。	<p>○玉川上水の水が飲み水として利用されていることを知る。</p> <p>○江戸時代の飲み水について知り、江戸のまちで深刻な水不足が発生した事を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水をくんできたり、水売りから買ったりしていた。</li> <li>・町が広がり人口が増えた。</li> <li>・井戸を掘っても塩水がまざっている。</li> <li>・江戸のまちの人々は、水不足に苦しんでいた。</li> </ul> <p>○江戸のまちの人々の気持ちを吹き出しに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このままだと生活に困ってしまう。</li> <li>・水がないと生きていけない。</li> </ul> <p>○玉川兄弟が玉川上水をつくったことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水は江戸時代に玉川兄弟によってつくられた。</li> </ul> <p>○玉川上水や玉川兄弟について考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水の水が江戸時代の飲み水だったとは驚いた。</li> <li>・玉川兄弟が江戸のまちの人々のために玉川上水をつくったことが分かった。</li> </ul>	<p>◎コップに入れた水</p> <p>◎羽村取水堰、玉川上水、玉川上水駅の写真</p> <p>□江戸のまちの様子をとらえられるように絵などを提示する。</p> <p>□現在も玉川上水を通して浄水場に送水されていることに加え、地域に玉川上水や玉川上水駅があることから、玉川上水と自分とのかかわりを捉えさせる。</p> <p>◎水をくむ人や水売りの絵</p> <p>◎江戸のまちの広がりや人口の変化</p> <p>□当時の人になったつもりで吹き出しに書かせることで水不足に苦しみ、解決してほしいという願いをもっていたことを捉えさせる。</p> <p>◎玉川兄弟像の写真</p> <p>◇【関】江戸のまちの水不足について意欲的に調べ、玉川上水や玉川兄弟に関心をもっている。（発言、ノート）</p>
②玉川上水の工事の様子や玉川兄弟について考え、学習問題をつくり、学習計画を立てる。	<p>○玉川上水の流路、距離、大きさ、工事期間について調べる。</p> <p>「流路」 ・羽村から四谷大木戸</p> <p>「距離」 ・約43kmもある。</p> <p>「大きさ」 ・幅約9m、深さが約4mもある。</p> <p>「工事期間」 ・わずか8か月で完成させている。</p> <p>○疑問や調べたいことを発表し、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ遠い羽村から水を流すことにしたのだろうか。</li> <li>・どのようにして作ったのだろうか。（なぜ短期間でできたのか、どんな道具を使ったか）</li> <li>・江戸のまちの水不足は解消したのだろうか。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>玉川兄弟は、どのように玉川上水をつくり、それによって人々のくらしはどのように変わったのだろうか。</p> </div> <p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水の工事の様子</li> <li>・玉川兄弟の努力について</li> <li>・江戸のまちの水不足がどうなったのか</li> </ul>	<p>◎江戸のまちの位置と玉川上水の流路を示した地図</p> <p>□自分とのかかわりで捉えられるよう、玉川上水駅付近の玉川上水の大きさを提示する。</p> <p>□距離や大きさ、短い工期で工事を終えたことから、玉川兄弟の工夫や努力に関心をもたせる。</p> <p>□「何を」を「どのように」調べていけばよいか考えさせる。</p> <p>□単元を通して考えたことを玉川上水マップに表現していくことを伝える。</p> <p>◇【思】玉川上水の工事の様子や玉川兄弟について考え、学習問題をつくり、学習計画を立てている。（ノート）</p>

調べる	<p>③地形図を見て、玉川上水の流れるコースを調べる。</p>	<p>○資料を見て、谷を避けて水を流すにはどこを通れば良いか考え、実際の流路と比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸のまちの近くだと多摩川の方が低い所にある。</li> <li>・羽村から四谷まで一直線だと谷を通ってしまう。</li> </ul> <p>○玉川上水の水路がどれくらいの傾斜があるか予想し、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く水を届けるために傾斜が大きい。</li> <li>・とても長い距離だから傾斜は小さい。</li> </ul> <p>○玉川兄弟の工夫（距離が長くても羽村から取り入れた理由など）を玉川上水マップにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷をさけて、できるだけ高い土地を選んで流すためには、距離が長くなっても羽村がよかった。</li> </ul>	<p>◎東京の谷を示した図</p> <p>□水は高いところへは流れないことから、下流域では谷を通ってしまい江戸のまちまで水を届けられないことに気付かせる。</p> <p>◎羽村取水堰と四谷の高低差を示した図。</p> <p>◎傾きを示した模型</p> <p>□2mで約5mmの高低差しかないことから驚きをもたせる。</p> <p>◇【技】地形図から土地の高低を読み取り、玉川上水の流れかたを調べ、まとめている。</p>
本時	<p>④玉川上水工事の様子に関心をもち、短期間で工事を終えるために多くの工夫があったことがわかる。</p>	<p>○玉川上水を短期間でつくりあげた玉川兄弟の工夫を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢で作業した。</li> <li>・すごい道具を発明した。</li> </ul> <p>○資料から、当時の道具はどのような物を使っていたのか読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くわやもっこなどを使っていた。</li> <li>・人の力で運ばなければならない。</li> </ul> <p>○工事の絵から気付いたことをノートに書き発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢で作業をしている。</li> <li>・区画を分けて工事を進めている。</li> <li>・指示を出している人がいる。</li> </ul> <p>○工事の様子を調べ分かったことや考えたことを吹き出しに記入し、「玉川上水マップ」に貼る。</p>	<p>◎工事の想像図</p> <p>◎工事で使われた道具</p> <p>□当時の道具を使った作業の様子を想像させ、決して楽な作業ではなかったことをつかませる。</p> <p>◇【技】資料から工事の様子を読み取っている。</p> <p>【思】読み取った工事の様子から玉川兄弟の工夫を考える。</p>
	<p>⑤困難を乗り越えて工事を続けた玉川兄弟の思いを考え、表現する。</p>	<p>○工事に2度失敗した時の玉川兄弟の気持ちを想像し、自分だったらどうするか考え発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事を続けるのは大変。</li> <li>・他のみんなに申し訳ない。</li> <li>・失敗している場合ではない。</li> <li>・自分だったら工事をあきらめる。</li> <li>・募金や借金などして何とか工事を続ける。</li> </ul> <p>○江戸のまちの人々のために困難を乗り越えて工事を続けた玉川兄弟の思いを想像して吹き出しに書いて発表し、「玉川上水マップ」に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちがやめたら江戸のまちの人々は助からない。</li> <li>・江戸のまちの人々のために工事を進める。</li> <li>・一度任されたら最後までやらないといけない。</li> <li>・失敗には負けていけない。</li> </ul>	<p>◎かなしい坂の写真と失敗の話</p> <p>◎水喰土公園の写真と失敗の話</p> <p>□資金が底をついたとき自分だったらどうするか考えることでより玉川兄弟の強い思いにせまらせる。</p> <p>□お金が足りなくなった時に、工事をやめるのではなく自分たちの財産や家を売ったお金を使ってでも工事を進めた玉川兄弟の思いを想像させる。</p> <p>◇【思】江戸のまちの人のために困難を乗り越えて工事を続けた玉川兄弟の思いを考え、表現している。</p>

<p>⑥江戸のまちにきれいな水を配水するための工夫がわかる。</p>	<p>○四谷大木戸の絵を見て、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中から地下に入っている。</li> <li>・水番小屋がある。 ・芥留めというものがある。</li> </ul> <p>○木樋、石樋や石のますの写真を見て、どのように使われていたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水を様々な方向に流すため</li> <li>・きれいな水を流すため</li> </ul> <p>○江戸のまちにきれいな水を配水する方法について説明し、分かったことや考えたことを「玉川上水マップ」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木樋や石樋を地面に埋めてその中を通すことで水が汚れないようにした。</li> <li>・上水井戸から水をくんだ。・水番小屋で見張りをした。</li> <li>・江戸のまちにきれいな水を配るためにすごい技術や工夫がされていることが分かった。</li> </ul>	<p>◎江戸時代の四谷大木戸の絵</p> <p>□四谷大木戸までの玉川上水との違いに着目させる。</p> <p>◎木樋、石樋、石のます、つぎての写真、配水図、上水井戸の絵</p> <p>□木樋や石樋はきれいな水を江戸中に配水するための工夫であったことに気付かせる。</p> <p>◎おふれ書き、水番人の仕事の話</p> <p>□生活用水としてきれいな水が必要ということを考えさせる。</p> <p>◇【理】江戸のまちにきれいな水を配水する工夫を理解している。</p>
<p>⑦玉川上水が完成した時の江戸の人々の気持ちを考え、表現する。</p>	<p>○玉川上水ができた後の江戸のまちの人々の暮らしの変化を予想し、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して水が飲めるようになった。</li> <li>・安心して料理ができるようになった。</li> <li>・玉川上水の水を使うことが自慢だった。</li> </ul> <p>○江戸のまちの人々の気持ちを考え、吹き出しに書いて発表し、「玉川上水マップ」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟のおかげで安心して水を使うことができたようになった。ありがとう。</li> <li>・玉川上水の水を使える自分達は幸せ者だ。</li> </ul>	<p>□水が手に入ることで全ての面で生活が向上することをおさえる。</p> <p>◎川柳、産湯を自慢する話、上水井戸を使っている様子の絵</p> <p>□吹き出しに書く形にすることで当時の人々の立場に立って考えられるようにする。</p> <p>◇【思】玉川上水が完成した時の江戸の人々の気持ちを考え、表現している。</p>
<p>⑧武蔵野台地に多くの分水が引かれたことを調べ、新田開発がされたことがわかる。</p>	<p>○分水ができる前の武蔵野台地の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が地面にしみこみやすい。</li> <li>・ススキやカヤの草原で人はほとんど住んでいない。</li> <li>・苦労をして井戸を掘っていた。</li> </ul> <p>○分水と、分水を引くことができたわけを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野火止用水、小川用水、千川上水、三田用水など様々な分水があり今の東大和市の近くにも分水がある。</li> <li>・玉川上水が周りよりも高いところを流れていた。</li> </ul> <p>○分水ができる前後の地図を比べ、分水ができたことで周辺地域がどのように変わったのかまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分水のまわりに村が増えた。</li> </ul> <p>○新たにできた村の人々の気持ちを想像して吹き出しに書いて発表し、「玉川上水マップ」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな土地に住むことができてうれしい。</li> <li>・分水のおかげで住むことができた。</li> <li>・分水の工事や、新田開発を頑張ってくれたおかげで住むことができた。</li> </ul>	<p>◎武蔵野台地の昔の様子（文章）</p> <p>□人が簡単には住めないことをとらえさせる。</p> <p>□玉川上水が、江戸のまち以外の地域の人々の役にも立っていることをつかませる。</p> <p>◎玉川上水の分水を示した図</p> <p>◎まいまいず井戸の絵</p> <p>◎玉川上水の断面図（馬の背）</p> <p>◎時代ごとの村の数を表した図。</p> <p>□新しい村は玉川上水や分水の周辺に多いことに注目させる。</p> <p>◎新田開発の苦労（絵、文）</p> <p>◇【技】武蔵野台地に多くの分水が引かれたことを地図を読み取りながら調べ、新しい村ができた様子をまとめている。</p>



<p>まとめる</p>	<p>⑨これまでの学習をもとに玉川上水の恩恵を受けた人、玉川兄弟の両方の立場に立って思いを書き、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○玉川上水ができたことにより人々の生活はどのように変わったかを発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して水を飲んだり、洗濯や料理をしたりすることができるようになった。</li> <li>・分水が引かれたことで作物が作られるようになり、新しい村ができた。</li> </ul> <p>○江戸のまちの人、武蔵野台地の人、玉川兄弟それぞれの立場で思いを吹き出しに書き、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦労をしたけど、何とか玉川上水を完成させることができた。これで江戸のまちの人々も水不足に困ることがなくなるだろう。</li> <li>・玉川兄弟のおかげで、飲み水に困らなくなり、洗濯や料理も安心してできるようになり、生活が楽になりました。ありがとうございます。</li> <li>・玉川上水を作ってくれたのおかげで分水を引き、武蔵野台地に住むことができるようになりました。</li> </ul> <p>○学習問題について考えたことを「玉川上水マップ」に貼り、まとめる。</p>	<p>□玉川上水ができる前の水不足の状態を振り返らせる。</p> <p>□玉川兄弟の働きと江戸のまちの人々が受けた利益を関連させてとらえさせる。</p> <p>□吹き出しに書かせることで当時の人々の立場に立って考えられるようにする。</p> <p>□お互いの発表を聞き、玉川兄弟の働きについての考えを深められるようにする。</p> <p>◇【理】玉川兄弟の働きによって江戸のまちの水不足が解消したり分水が引かれ武蔵野の開発が進んだりしたことを理解している。</p>
<p>ふかめる</p>	<p>⑩現在も玉川上水の水が飲み水として利用されていることについて調べ、これからの玉川上水について考える。</p>	<p>○玉川上水の水の使われ方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽村取水堰第三水門から村山貯水池と小平監視所から東村山浄水場に水が送られている。</li> <li>・東大和市は小平浄水場の水を使っていて、それは玉川上水から取った水だ。</li> <li>・小平監視所から先は、再生水が流されている。</li> <li>・さらに先は緑道になっている。</li> </ul> <p>○玉川上水の水が使われてきた歴史を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀橋浄水場が無くなるまでは、東京都全体で使われていた。</li> <li>・羽村取水堰から小平監視所までの水は江戸時代からずっと飲み水として使っている。</li> <li>・狭山湖も小平監視所もすぐ近くにある。</li> </ul> <p>○東京都水道局の人の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水の水はずっと大切に使われている。これからも大切に使う。</li> <li>・玉川上水があったから、狭山湖や東村山浄水場に水を取り入れやすかった。</li> <li>・江戸時代から使われ続けている玉川上水をみなさんにも大切にしていってほしい。</li> </ul> <p>○現在も飲み水として使われている玉川上水について自分の考えを書き、「玉川上水マップ」を完成させる。</p>	<p>◎現在の玉川上水の水利用地図</p> <p>◎小平浄水場の配水図</p> <p>□現在は一部の区間から水を取り入れていることを伝える。</p> <p>◎玉川上水の水利用略年表</p> <p>□江戸時代につくられた玉川上水の水を現在まで使い続けていることに気付かせる。</p> <p>□自分たちの飲み水は玉川上水を流れた水であること、東京都で使われている水が自分たちの住む地域を流れていることから、玉川上水を自分に近づけて考えさせる。</p> <p>◎水道局の人の話</p> <p>□玉川兄弟がつくった玉川上水の水がこれからも東京都の飲み水として利用されることをつかませる。</p> <p>◇【思】現在も飲み水として使われている玉川上水について、自分の考えを表現している。(発言、記述)</p> <p>【関】玉川上水が今でも大切に利用されていることに関心をもち、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。(発言、記述)</p>

## 8 本時の指導（4 / 10）

### （1）本時のねらい

玉川上水の工事の様子を調べ、玉川兄弟や工事に携わった人の工夫や努力について考える。

	○主な学習活動 ・内容	◎資料 □留意点 ◇評価
つかむ	<p>○玉川上水の流路、距離、大きさを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽村から四谷まで 43km</li> <li>・幅約 9 m、深さ約 4 m</li> </ul> <p>○当時の工事の様子を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の力で地面を掘った。</li> <li>・木でできた道具を使っていたのではないか。</li> </ul>	<p>□前時までの学習を振り返ることで、本時の課題につなげる。</p> <p>□実際に使われた道具を提示することによって調べる意欲を高める。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     玉川上水の工事はどのように行われたのだろう。                 </div>	
調べる	<p>○工事の絵から読み取ったことをノートに書き発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の力で地面を掘り、土を運んでいる。</li> <li>・くわやかごなどを使っている。</li> <li>・少しずつしか掘れないから大変だ。</li> <li>・大勢で作業をしている。</li> <li>・場所を分けて工事をしている。</li> <li>・指示を出している人がいる。</li> </ul> <p>○工事の工夫や努力を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような道具を使っていたのだから、相当な人数が働いていたのではないか。</li> <li>・指示を出す人がいたから工事が順調に進んだと思う。</li> <li>・作業の場所を分けることで同時に作業が進められるし、責任をもって作業をするようにした。</li> </ul>	<p>◎工事の想像図</p> <p>□資料の読み取りから、決して楽な作業ではなかったことをつかませる。</p> <p>□分かったことだけでなく考えたことも発表させる。</p> <p>◇【技】資料から工事の様子を読み取っている。</p> <p>□短期間で工事を終わらせたことから、必ず工夫があるということを考えさせる。</p> <p>□グループで話し合うことで考えを広げられるようにする。</p>
まとめる	<p>○分かったことや考えたことを玉川上水マップにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢の人が関わり、作業をする範囲を区切って分担して工事を進めていったので短期間で工事を終えることができた。</li> <li>・江戸のまちの人々がとても困っていたから、たくさんの工夫をして何とか工事を早く終わらせようと頑張ったのだと思った。</li> <li>・玉川兄弟は 43km というとても長い距離を掘る工事を、様々な工夫を考えてとても短い期間で終わらせたのですごいと思った。</li> <li>・今のような道具が無いのに短い期間でつくったのは江戸のまちの人々の事を考えていたからだと思う。</li> </ul>	<p>□学習を通して分かったことや考えたことを整理させる。</p> <p>◇【思】読み取った工事の様子から玉川兄弟の工夫を考える。</p>